

私のエッセイ②



私の師 誠実、謙虚に接するということ

高橋千春 医師

こんにちは、2024年4月からこちらの緩和ケア病棟で働いています高橋です。私は、もともと内科とくに血液内科の患者さんをみていました。血液内科を選んだ理由は、研修2年目の指導医（オーベン）の先生（今は60代）との出会いでした。血液内科を専門としながらも内科の患者さんを隔てなく診察していて、しかも本当にどの患者さんのお話も優しく聞いて下さる先生でした。スタッフにも偉ぶることもなく、信頼されていました。その当時は緩和ケアがある市中病院も少なく、治療終了、中断後の患者さんが療養できる場所は限られていて、私の研修していた病院にもそういった患者さんが多く一般内科に入院していました。緩和ケアと標榜していた病院ではなかったですが、今の仕事に通じる経験をしていました。研修医だった私はそんな難しい状態の患者さんをよくしてあげることができず、無力感でいっぱいでした。知識も経験もほとんどない私にできることはなんだろうか、と悩んでいたところ、「とにかく患者さん1人1人に誠実に接して、先生が一番その患者さんのことを知っている、というぐらい学ばせて頂きなさい。」と声をかけて下さったことを今でも覚えています。「誠実に」とは、どういうことか？訴えを聞くことだけでなく、どうしたらよく出来るか考えて調べて相談して、、、患者さんと真摯に向き合っていくこと、できる努力を続けていくこと、ですね。医師歴16年目になり。出産・子育てで声も身体も大きくなってしまいましたが、上からでも下からでもなく隣に寄り添って「謙虚に」、時にはぶつかることもあります。初心は忘れずに私らしく「誠実に、謙虚に」日々がんばりたいと思います。

緩和ケア・テラス新聞③

埼玉協同病院東5病院

9月号



今月のイベント：紅葉コンサート



9/9に病棟デイルームにてコンサートを開催しました。スタッフが練習してきた定番のフラダンスとピアノとトランペット演奏と歌。参加された患者様、ご家族とスタッフも楽しい時間を過ごすことができました。



ピアノとトランペット演奏



歌唱



フラダンス（プロメリア）

名前決まりました。

この度、緩和ケア病棟の佐野先生にウーパールーパー2匹に名前をつけていただきました。これからも宜しくお願いします。

（ひびき）

黒響



（みやび）

桃雅



テラスに遊びにくる小動物



四十雀（シジュウカラ）



イソヒヨドリ



ナミアゲハ



シオカラトンボ

埼玉協同病院東5階緩和ケア病棟のホームページ

はこちらからもご覧になれます。

